

※事業名・体験活動名

わかさわんファミリーデー

1. 事業・活動の概要・成果等

○「家族利用」に特化した日を設定(年2回)

…当施設では、4～9月は学校団体や青少年団体を優先的に受け入れているため、ファミリーはなかなか利用できない。そこで、「ファミリーだけを受け入れる日」を特設することで、ファミリー団体がのびのび活動できる環境を整えた。

○30家族107名(1回目)と67家族224名(2回目)が、海活動を満喫

…県内だけでなく、近隣他府県の多くの家族からも参加申込があった。

水泳はもちろん、カヌー体験や海の生き物観察、キャンプファイアなど、自然の家での多くの活動を、家族で楽しみながら体験できる貴重な機会となった。



2. 団体の紹介

「体験活動を通した、青少年の健全育成」を目指す、青少年教育施設

- 次代を担う青少年の自立に向けて
- 体験活動の機会を意図的・計画的に創出
- 「早寝早起き朝ごはん」の国民啓発も
- 青少年に関わる指導者の育成にも注力

「海まで30秒」の立地を生かし、海洋型体験活動を提供し続けて、40年

- 24人が息を合わせて海へ漕ぎ出す「カッター」
- 海との一体感「シーカヤック」「スノーケリング」
- 海と山・森との繋がりを体験的に考える環境教育
- 地元文化を肌で感じられるクラフト工芸

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

〒917-0198 福井県小浜市田島区大浜

TEL 0770-54-3100

Mail wakasawan@niye.go.jp

3. 人材(スタッフ・次世代を担う若者)を育成するときに大切にしたいこと・気を付けていること

当施設では、大学生を中心としたボランティアスタッフが、子どもたちの活動をサポートしながら、実践的に学んでいる。職員が、彼らと関わる際に意識しているのは—

★「子どもたちを支える楽しさ・喜び」を味わえているか

…安全管理、体験学習サイクル、対人スキル、教育心理など、おさえどころは山ほどあるが、青少年教育のいちばんの魅力は、子どもたちが活動によって成長できたときに見せる笑顔。ボランティアスタッフを、単なる労働力のアタマ数としてはいけない。

★彼らの「チャレンジ」を引き出せているか

…経験もスキルも様々な彼らだが、個々のモチベーションを大切にしながら、アセスメントする。適切な課題を設定し、チャレンジを支え、事後にはフィードバックを送る。「自然の家で活動すると、成長できる」という実感を得られる場所であり続けたい。